

# 平成22年度 海外学生派遣事業 実績報告書

所属：先導科学研究科 生命共生体進化学専攻

氏名：桂 有加子

海外派遣先国名：アメリカ

海外派遣先大学名：エモリー大学 / Max Cooper Lab

ペンシルヴァニア州立大学 / Kateryna Makova Lab

海外派遣期間：2011年2月24日 - 3月31日

## 1. 海外派遣先大学について

\* エモリー大学は、ジョージア州のアトランタにあります。私が訪問したのは、免疫の進化を研究している Cooper 研究室です。

\* ペンシルヴァニア州立大学は、ペンシルヴァニア州のステートカレッジにあります。小さな町ですが、安全で、生活しやすいところです。私は、性染色体の進化を研究している Makova 研究室に訪問しました。

## 2. 海外派遣前の準備

【博士論文などとの兼ね合い、修了までの計画について】

\* 私は、5年一貫制博士課程で4年半を経過した時期に、約1ヶ月間、渡米しました。博士論文に関する研究の論文を1報投稿し、査読の段階でした。さらに、もう1報投稿論文を書いていて、投稿する直前でした。2番目の投稿論文に関して、Makova 博士とディスカッションをするのが目的で、海外派遣の計画をたてました。

【海外派遣情報の入手方法、専門分野・語学の準備方法、海外派遣大学の指導教員との準備、ビザ取得などについて】

\* Cooper 研究室の研究者と共同研究をおこなっているため、同研究室を派遣先を選びました。また、Makova 研究室にかつて所属していた日本人研究者と国際学会で知り合いになり、研究分野も近いので、派遣先として選びました。

\* 専門分野は、分子生物学、進化学です。どちらの研究室の研究も、私の専門分野でフォローでき、普段から関連論文を読んでいたため、とくに準備はしません

でした。語学の準備も特にしませんでした。研究内容についての議論や簡単な日常会話はできましたが、日常会話で政治や社会の専門用語を理解して話すのには苦勞しました。

\* 海外派遣大学の指導教員とは、メールでやりとりしていました。両研究室の研究者には訪問前に会ったことがあるのですが、両教授にはアメリカで初めて会いました。

\* 1ヶ月だったので、ビザは取得していません。ESTA（アメリカ電子渡航認証システム）は以前、電子申請していました。

### 3. 海外派遣中の勉学・研究

\* ペンシルヴァニア州立大学では、2つの授業に参加しました。授業の登録はしていませんが、他の学生に勧められて、聴講しました。

\* 学部生向けの進化学の授業と大学院生向けの統計学の授業に参加しました。前者は、よく理解できましたが、後者は、セメスターの途中から参加したこと、実践的な内容のため、理解するのが難しかったです。これまで受けてきた経験からみて、どちらの授業も、レベルが高かったです。進化生物学の国際シンポジウム（SMBE）にも参加し、発表しました。様々な分野の研究者が来ていて、講演は興味深く、ディスカッションもできたので、大変有意義でした。

### 4. 海外派遣中に行った勉学・研究以外の活動、旅行、スポーツなど

\* 休みの日に、国立公園でハイキング・ドライブをしました。プールで水泳もしました。美術館や博物館にも、行きました。

### 5. 海外派遣費用について

\* 大学から支給された予算以上に経費がかかりました。計画したよりも、生活費や国内交通費がかかってしまったからだと思います。

### 6. 海外派遣先での語学状況

\* 基本的に、英語を使用しました。特に、語学試験は受けてきません。英語で自分の研究が説明できることが重要だと思います。日常会話に関しては、普段から留学生やネイティブスピーカーと英語で話すことで、練習していました。

## 7. 海外派遣先で困ったこと

\* 食事に困りました。

## 8. 海外派遣を希望する後輩へアドバイス

\* 私は、海外で長期滞在した経験がないので、日本の文化に慣れ親しんでいます。そのため、アメリカの文化は、日本のものと全く違うので戸惑いがありました。最終的には、自分の意思をきちんと伝えることで、誤解やミスコミュニケーションは減ってきました。言いにくいことでも、できるだけはっきり言葉にして伝えるように心がけて欲しいと思います。また、英語が理解できないときは、わかったふりをして聞きながさず、すぐにもう一度言ってほしいと切り返したほうがいいと思います。後々、わからないのに、うんうんと返事をしていたら、大きな誤解を生みます。研究に関するディスカッションでは、英語が流暢なことよりも、相手が自分のいいたいことを伝える強い意思が大事だと思います。学生であっても研究者として対等な関係で、話を聞いてもらえるので、日本よりも、話しやすい面もありました。いつも、笑顔でいることを心がけて、海外派遣先の生活を楽しんでください。